

Stride Ahead
100th

TERUMO



第107期 上半期株主通信

BUSINESS REPORT

2021年4月1日～2021年9月30日

証券コード:4543

次の100年を見据えて、価値あるソリューションを創造し、医療の進化に役立つ存在を目指す

株主の皆様には、日頃よりテルモグループの事業活動にご理解、ご支援を賜り、心より御礼申し上げます。また、新型コロナウイルス感染症により亡くなられた方々に哀悼の意を表しますとともに、罹患された方々には心よりお見舞い申し上げます。

今、世界の医療は大きく変わろうとしています。あらゆる技術の進化が医療の「パラダイムシフト」を加速させ、足もとでは新型コロナウイルス感染症の世界的流行が、新しいテクノロジーの採用を促しています。社会全体としても、人生100年時代を迎えて解決すべき医療課題が山積し、重大な転換点を迎えています。

当社は2021年9月17日に創立100周年を迎え、次の100年に向けて歩み始めました。これに合わせて、「サステナビリ

ティ基本方針」を制定いたしました。医療を取り巻く環境が大きく変化する中でも、テルモが長期的な視点から医療上の課題解決に取り組み、社会に価値を提供し続けていくための指針となるものです。「医療を通じて社会に貢献する」という企業理念に基づき、「医療の進化」と「患者さんのQOL向上」に取り組むことで、テルモの存在意義(Purpose)に合う事業活動を続けてまいります。具体的には、①一人ひとりの人生に寄り添う医療の提供、②持続可能な医療システムの共創、③医療の普及・医療アクセスの向上、を社会価値創造に関する重点活動テーマにかかげました。これからはモノとサービスにデータを組み合わせて医療を最適化する取り組みが求められます。製品軸から顧客軸へ発想を転換し、予防から治療、予後のケアに至るペイシェントジャーニーに寄り添いながら、より効果的で、価値の高いソリューションの提供を目指します。また、IoTにAI、ロボティクスなど、デジタル活用の動きは医療分野においても加速しています。テルモはこれらの変化に対応すべく、グループを挙げてデジタルトランスフォーメーションを推進し、さらなる成長を目指していきます。

さらに、地球環境や人権問題など、社会から求められる様々な課題にも業界のリーディングカンパニーとして積極的に取り組み、幅広いステークホルダーの期待にこたえてまいります。株主の皆様には、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



代表取締役社長CEO
佐藤 慎次郎

2022年3月期上半期の業績報告

売上収益 **3,446** 億円 前年同期比 **+21.7%**

営業利益 **659** 億円 前年同期比 **+57.5%**

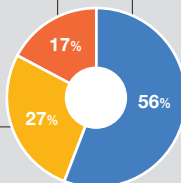
カンパニー別売上収益

血液・細胞
テクノロジーカンパニー

582 億円
前年同期比 **+12.0%**

ホスピタルカンパニー

920 億円
前年同期比 **+12.4%**



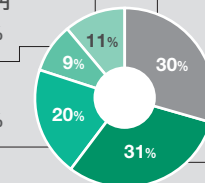
心血管カンパニー
1,943 億円
前年同期比 **+30.1%**

地域別売上収益

アジア他 **374** 億円
前年同期比 **+18.9%**

中国 **301** 億円
前年同期比 **+48.6%**

欧州 **683** 億円
前年同期比 **+23.0%**



日本 **1,024** 億円
前年同期比 **+9.5%**

米州 **1,063** 億円
前年同期比 **+28.9%**

海外合計 **2,422** 億円 前年同期比 **+27.6%**

※構成比率は小数点以下を四捨五入しており、合計が100%とならない場合があります。

2022年3月期 通期の業績見通し

売上収益 **6,850** 億円

営業利益 **1,200** 億円

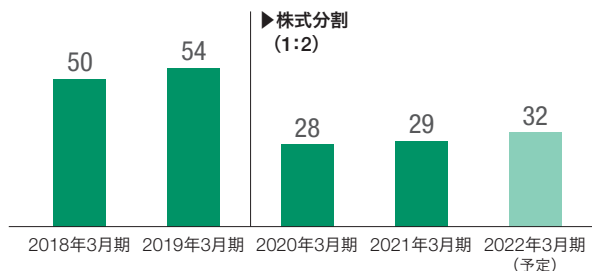
現時点では不透明な新型コロナウイルス感染症の再拡大の動向、またその影響による需要減やサプライチェーンの混乱、輸送費や原材料費の高騰等のリスクについては、引き続き注視していく必要がありますが、当社グループは目標の達成に向けて、医療の質と効率の向上に貢献する高付加価値製品の導入及び拡大、さらなる原価改善、販管費の効率的な運用等に注力してまいります。

配当方針

当社は、企業価値の一層の増大を図るべく、利益の再投資を適切かつ積極的に進めることにより、持続的な成長と高い収益性の確保に努めています。株主の皆様への利益配分につきましては、安定的に配当を増やし、中長期的に配当性向30%を目指してまいります。

当期の中間配当金は、1株につき16円といたします。また年間配当金につきましては、当中間配当金を含め、1株につき32円を予定しております。なお、当社は2019年4月1日付けで、普通株式1株を2株とする株式分割を実施いたしました。

一株当たり配当金(円)



安全で効率的なワクチン接種を目指し「ワクチン用シリンジ」をスピード開発

テルモが日本初のディスプレイ（単回使用）シリンジを発売したのは、1963年のこと。その後、様々な改良を重ね、2009年にはデッドボリュームが少ない針植え込み式注射器「FNシリンジ」を開発しました。そして現在、新型コロナウイルス感染症のワクチンを多くの人々が接種できるよう筋肉注射可能な「FNシリンジ」を開発。プロジェクト開始から約3カ月という、平時よりも大幅に短縮された期間で製品を供給しています。その開発の経緯や今後の展望などをプロジェクトの中心となった小林亮司に聞きました。



テルモ株式会社
ホスピタルカンパニー
甲府東工場
開発技術部商品開発（医療器）

小林 亮司

甲府工場の商品開発チームの開発責任者として、ディスプレイ製品のコンセプト策定から仕様設計、製造の立ち上げなどを担当。2021年3月に製造開始となった薬剤投与用注射器「FNシリンジ」の開発においてもプロジェクトリーダーを務めた。

政府からの要請に応じて――

日本人の体型に合った ワクチン接種用シリンジを

2020年冬、日本でも新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が検討され始めた頃、日本政府から、薬液を無駄なく使いきれられるデバイスを供給できないか、という相談がありました。

短期間での供給実現が求められたため、一から開発するのではなく、既にあるテルモの技術を応用することにしました。様々な候補を検討する中、「2009年の豚インフルエンザ流行時に開発していた針付きシリンジをベースにしよう」という結論に至りました。

一方、課題もありました。その一つが、日本人の体型に合わせ

た注射針の長さです。日本では皮下投与によるワクチン接種が普及していますが、今回は、より深いところに針を刺す筋肉注射が想定されていました。筋肉注射用の針の長さは一般的に25ミリですが、その長さから、日本人の体型では針が骨に当たってしまうケースがあるという報告がありました。これを踏まえ、医療従事者の皆様にもヒアリングをし、一般的なものよりも針が短いシリンジを開発することにしました。

さらに、集団接種も計画されていたため、使用時に持ちやすく疲れにくい形状にするなど、医療従事者の皆様にも極力ストレスのかからない製品を目指しました。

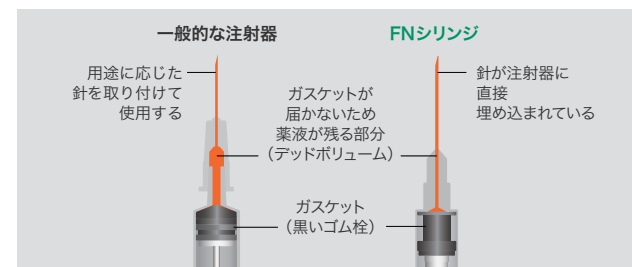
以上のことを検討した結果、16ミリという針の長さにたどり着きました。

「FNシリンジ」とは――

針とシリンジを一体化させることで、 無駄のない薬剤投与を目指した注射器

一般的には針とシリンジは別々の製品であり、それらを組み合わせることで薬液を投与します。ただし、その場合には針の付け根の部分に薬液が少し残ってしまうという課題があります。

その解消を目指し、針とシリンジを一体化させ、薬液残りを少なくできるように設計されている点が、「FNシリンジ」の特徴です。また、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種用のFNシリンジについては、日本人の体型に合わせて16ミリに針の長さを調整しました。



一日も早く――

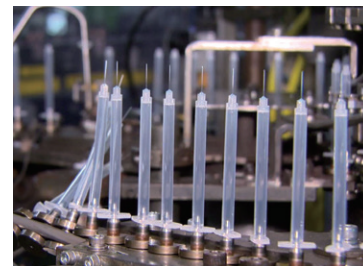
関連部門の連携によって 開発スピードを加速

今回のプロジェクトでは、「新型コロナウイルス感染症のワクチンを一日でも早く提供する」というゴールが明確でした。そのため、開発チームだけでなく、工場内の他部門や本社ともこれまでに以上に連携しながらプロジェクトを進めることができました。

例えば、テルモでは各工場が開発部門と生産部門が併設されているため、甲府工場でもアイデアを早急に生産部門へ持ち込み「こういう形状で作れないか？」と試作品の相談などができました。ま

た、針も甲府工場で作っているため短期間で完成させることができましたし、生産に向けた設備づくりの際にも、設備の改造期間を短くするためのアイデアを積極的に交換できました。

このように関連部門が密に連携した結果、短期間での製品開発だけでなく、原料の早期調達をも実現できました。また、製造販売の薬事承認についても、本社の薬事部門と事細かに連携できたため、通常よりも大幅に短い期間で承認を得ることができました。



患者さんや医療従事者のため――

さらなる進化に挑戦する

「FNシリンジ」は、今後も医療現場のニーズに応え供給し続ける必要があります。そのため現在、生産規模の拡大に向け新たな設備を導入するなど、急ピッチで準備を進めています。

一般的にシリンジはシンプルな構造の医療機器ですが、薬剤投与や血液採取など、幅広い医療行為で使用されています。言い換えれば、シリンジは日々の医療を支えてきた基盤的な製品とも言えるでしょう。

「医療を通じて社会に貢献する」という企業理念に基づいて、今



後も患者さんや医療従事者のため、シリンジをはじめとした基盤的な医療機器のさらなる進化に挑戦していきます。

テルモメディカルプラネックスにご招待

医療現場を再現した環境、100年にわたるテルモの医療への取り組みを感じていただける製品展示などを備えたテルモメディカルプラネックスは、医療従事者向けのトレーニングを提供するだけでなく、社内外の方とのコミュニケーションスペースとして重要な役割を担う拠点です。医療手技の疑似体験や、製品に触れていただく機会もご用意しております。奮ってご応募ください。



Aコース 各日60名様ご招待

プラネックス見学会 株主様ご本人

2022年3月2日(水)13:00~17:30

2022年3月11日(金)13:00~17:30

Bコース ペア30組 60名様ご招待

キッズメディカルスクール ~お子様向けプログラム~
株主様+お子様またはお孫様(1名)

2022年3月12日(土)13:00~17:30

見学場所	参加費	集合時間・場所
テルモメディカル プラネックス 神奈川県足柄上郡中井町	無料 集合場所までの往復交通費は ご負担をお願いいたします	13:00・小田急線秦野駅 またはJR二宮駅(送迎バス有) 見学場所へのお車でのご来場は ご遠慮ください

- 応募方法 同封の応募ハガキまたはウェブサイトにてご応募ください。ご希望者多数の場合は抽選となります。
抽選結果は、2022年2月上旬頃、メールまたは郵送にてお知らせいたします。なお、過去にご当選経験のない株主様を優先させていただきます。
- 応募締切日 2022年1月7日(金)(当日消印有効)
- 参加対象 Aコース:株主様ご本人
Bコース:株主様ご本人+お子様またはお孫様(1名)
なお、お子様またはお孫様は、小学1年生~中学3年生とさせていただきます(年齢に応じてグループ分けをいたします)。
- ご注意 ・新型コロナウイルスの感染状況により、中止、または規模を縮小しての開催となる場合がございます。
・見学時間は3時間程度で、徒歩、階段での昇り降りが多くございます。
- お問い合わせ先 電話:03-6742-8500[受付時間]9:00~17:45
(土日祝および2021年12月29日~2022年1月4日の休業日を除く)

100周年記念サイトのご案内

テルモ100年の歩みや未来への挑戦についてご紹介しています。ぜひご覧ください。

テルモ100周年記念サイト
<https://www.terumo.co.jp/100th/>



@terumo_jp

テルモ株式会社Twitter公式アカウント

テルモの最新情報を発信しています。
ぜひご覧ください。

株式についてのご案内

- ◎事業年度 4月1日から3月31日まで
- ◎株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
- ◎同連絡先(郵便物送付・電話照会)
〒137-8081 新東京郵便局私書箱29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話:0120-232-711(フリーダイヤル)
- ◎単元株式数 100株



北里柴三郎博士(資料提供:学校法人北里研究所)

テルモは、第一次世界大戦の影響で輸入が途絶えた体温計を国産化するために、北里柴三郎博士をはじめとする医師らが発起人となり、1921年に設立されました。

